

議長定例記者会見／令和5年7月24日（月）

○丸井議長

お忙しいところお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。

それでは、まず初めに、第314回定例会の採決結果について御報告をいたします。

知事提出議案34件のうち、議案14件を可決・認定・同意し、報告のみが20件でした。

発議案については、提出された5件のうち3件を可決し、2件が否決となりました。

議員派遣については、国内派遣1件が可決されました。

私からは以上でございます。

○記者

本議会は、宮下知事になって初めての議会となったわけですがけれども、議長から御覧になって、知事の答弁を含めた議会对応についてどういう印象をお持ちになったとか今後の期待とか、あったら教えていただきたいです。

○丸井議長

知事の答弁などをお聞きして、今議会は無難な船出ではなかったかなと思いましたが、知事になられたばかりですから、次の議会あたりに、知事のやりたいこと、方針はもっと細かく示されてくるだろうと思っています。ですから、先ほど申し上げたように、無難な船出と感じています。

○記者

今後の展望などがあれば。

○丸井議長

先ほど申し上げましたように、知事のやりたいことが次の議会あたりで細かい部分が提案される、報告されると思っておりますので、それに私は期待しております。

○記者

今の質問についてももう少し詳しくお聞きしたいんですけども、無難な船出というのはどういうところを捉えて無難な印象なのでしょうか。

○丸井議長

いろんな御質問、知事選挙に出馬した時の公約等の質問等がたくさんありましたけど、中身自体にはあまりお答えになってないんですよ。選挙戦で述べられた、例えば委員会をつくるとか協議の場をつくるとか、そういう御発言が多かったと思っておりますので、先ほど申し上げましたとおり、中身につ

いては次の議会でお話いただけると思っています。

○記者

先日知事と一緒に要望活動に行かれましたが、どういった印象をお持ちになられたか、お聞かせいただければ。

○丸井議長

私も初めてついていきましたから、前の知事さんがどうやってたのか分からないのですが、やはり以前国の役人をやられておられましたから、どこの省庁に行ってもやっぱりお付き合いされていた方々、友人だった方々がいらっしゃいますから、どこに行ってもそれなりにお話が通じるように感じています。

先日初めて東京に行かれたということでしたから、もっと知事が交流を深めていただいて、青森県のためにこれからも頑張っていただきたいと思います。

○記者

議会との対話という点では、宮下知事は議会で一県民の代表としてですからしっかり対応していきたいといった話をされていましたが、そのあたりの評価といいますか、議会との対話といったところでは宮下知事にどのような印象をお持ちでしょうか。

○丸井議長

議会との対話に関しましては、私は違和感をもっておりません。前知事と比べても対話自体は同じような対話をされているんだろうと。議会の始まりの時に知事と少しお話させていただきましたが、市議会を経験してきたということもあり、議会のことは尊重する、しっかりと尊重して向き合っていきますというお話をいただいておりますので、私は違和感を覚えてはいません。

○記者

先ほど、議会改革検討委員会が設置されましたけれども、今後どのように議会改革を進めていきたいかというところを伺いたいと思います。

○丸井議長

各会派から今いろんな御提言をいただいております。議会改革検討委員会で今からそれを揉んでいただいて、やはり進めるべきものは進めていかなければならないと思っています。

改革というのは常にしていかななくてはならないと思っています。時代がどんどん新しくなっていく訳ですから、それに我々も順応していくということは非常に重要であろうと思っています。

○記者

1 人区の解消や区割の見直しというのは来年1月からという話だったと思うんですけど、それに関しても何らかの方向性を見出したいという感じでしょうか。

○丸井議員

全議員の御意見を賜りながら当然進めていくことになるのではないかと考えております。私の意見を今ここで言ってそちらに誘導する訳にもいきませんので、それに関しては私もノーコメントとさせていただきます。

○記者

知事が今回代わられて、議会の中での議論が活性化した印象はありますか。

○丸井議長

先ほども申し上げましたけども、議会側も知事側もまだ手探りな部分があるのではないかと考えております。ですから先ほど申し上げたように、次の議会でかなり活発な議論がなされるのではないかと期待しております。

ありがとうございました。